

園だより

2021年5月号
2021年5月7日発行

育ちを信じて

緑が美しい季節です。事務室の窓から眺める園庭は、葉桜やハナミズキがとてもきれいで心が洗われます。



新年度が始まり1か月が過ぎました。新入園児の慣れる保育の期間は、緊張でずっと泣いて「全く飲まない」「ぜんぜん食べない」という子もいました。「水も飲まないから、脱水症になってしまう。」「食べないから午後までもたない！」と心配していた子も、数日後には「今日はミルクを少しのみました！」「今日のご飯を3口食べました！」と報告が来ました。そうです！！個人差はありますが、子どもは必ず変化していきます。泣きながらも、しっかりと周りを観察していて、ある日突然おもちゃに手を伸ばし、遊び始めているのです。子どもの成長を信じて、ゆったりと待つことの大切さを改めて感じる5月です。

子どもの成長を信じるというのは、子どもは日々変化し続けることに信頼を置くことです。入園面接時に「うちの子はこれは食べません」「これは嫌いなのです」とお家の方が言いますが、環境も変わり状況も変わると、家で食べないものを園では食べたり、苦手と思っていたことに取り組んでいたり。「うちの子はこういう子」と決めつけしないで、子どもの可能性や成長を是非信じてほしいと思います。親が思う以上に子どもの能力は未知で、すてきな賜物(長所)を神様がたくさん与えてくださっているのですから。

親が生んだ子ですが、親の所有物ではありません。生を受けて命が与えられたひとりの人格として、尊重してください。

虫も動物も子どもも動き出す時期です。どんな姿をみせてくれるのか、ワクワクしながら成長を見守っていきましょう。

園長 三幣典子

「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」

(第1 コリント信徒への手紙 3章6節)